



# 中津川ロードレース大会

11月3日（金）、山岸地域で「令和5年度第38回中津川ロードレース大会」が開催されました。主催は、山岸地区福祉推進会（豊村徹也会長）。

時期外れの暖かさとなった秋晴れの下、主会場となる山岸小学校でスタートの号砲が鳴りました。コロナ禍で4年ぶりの開催となった同大会には、山岸小学校（4、5、6年）、下小路中学校（1、2年）の児童生徒241人が出場。選手たちは、地域の人々の温かい声援を受けながら、それぞれのベストタイムを目指し、中津川沿いの3kmのコースを全力で駆け抜けました。



開催に当たっては、福祉推進会の役員のほか、PTA役員や民生児童委員、学校職員など総勢161人がスタッフとして運営を支え、また、地元企業等の協賛も大きな支えとなっています。競技中は、大きな声でランナーを激励したり、ゴール後に座り込んだ選手を拍手で称えるなど清々しい光景が見られ、ロードレースを通して、より一層交流を深めるとともに、地域が一丸となって協力し、大会を盛り上げていました。



# 盛岡市地域共生社会推進フォーラム

～支え合い、助け合い“つながる”まち・もりおか～



9月26日（火）、プラザおでって（中ノ橋通一）を会場に、盛岡市地域共生社会推進フォーラムが開催されました。主催は盛岡市、盛岡市社会福祉協議会。

この事業は、第2期盛岡市地域福祉計画の「共に支え合い、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現」に向け、住民参加の地域づくりの意識醸成を図ることを目的に、開催されたものです。

厚生労働省社会・援護局地域福祉課の米田隆史さんによる基調講演では、地域社会では「人口減による担い手不足」や「共同体機能の脆弱化」などの問題が生じていると分析。これからは地域住民や地域の多様な主体が、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現が求められていると説明しました。その上で、いま「やっていること」、「できていること」を持ち寄り、広げたり、重ねたり、かけ合わせたりして、できることをみんなで考えていくことが重要であると話しました。

実践報告会では、みたけのまちのボランティアの三浦正平さんと、仙北地区社会教育福祉推進会の浅沼秀夫さんが地域での活動事例を発表しました。地域のボランティアや様々な団体が協力し、「つながる」地域づくり、持続可能な居場所づくりを目指す取組みを紹介。来場者は時折メモを取りながら、真剣に耳を傾けていました。

## ～地域イベントのご紹介～

### 令和5年度 東厨川地区防災訓練

令和5年10月1日（日）、厨川地区活動センター（前九年三丁目）を主会場として、令和5年度東厨川地区防災訓練が開催されました。主催は東厨川地区自主防災会（佐藤栄一会長）。

同会では、平成24年度に策定した地域づくり計画「歴史が薫る 桜とみどりのまち 東厨川」のテーマの1つ「安全・安心なまち」の取組として、防災訓練を毎年度実施しています。

コロナの影響により令和2年度から令和4年度までは規模を縮小しての開催が続いていましたが、今回、4年ぶりの通常開催となり、300人を超える地域住民の参加がありました。

本訓練では、東厨川地区に甚大な被害が発生したとの想定で、防災教室や避難所生活体験、新聞紙で食器づくり体験など合計9ブースが設定され、参加者はスタンプラリー形式で各ブースを回りました。

防災訓練の当日の様子をご紹介します。

防災教室コーナーでは、講師の市危機管理防災課職員から、洪水等の被害想定区域や避難場所等の説明を受け、いざというときの行動を確認しました。



### 避難所生活体験 段ボールベッドの組立て



避難所生活体験コーナーでは、避難時に使用するパーテーションや段ボールベッドの組立てを参加者が体験し、自らで組立てができるよう学びました。

ほかにも、親子で学べる防災かるたゲームや、盛岡西消防署職員による消火訓練や応急手当訓練などがあり、参加者は複数のブースを体験し、防災の意識を高めていました。



## 第2回

# 永井つどいのマルシェ



### 【いものこ汁・赤飯の販売の様子】

11月12日（日）、永井小学校体育館を会場に、3年ぶりに「永井つどいのマルシェ」が開催されました。主催は、永井地区まちづくりの会（兼平孝信会長）。当日は、地域の新鮮な農産物やいものこ汁・赤飯の販売、フリーマーケットの出店のほか、子ども縁日が開かれるなど、幅広い世代の来場があり、多くの人で賑わいました。

盛岡市の南部に位置する永井地区は、上永井・中永井・下永井の三自治会からなる、人口約8,300人の地区です。同事業は「令和5年度地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業（一財）地域活性化センターが市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ）の収益金の交付を受けて行う事業」の助成金を受けて、実施されたものです。

同会アドバイザーの川村和寛氏は、「3年ぶり2回目となり、運営側も楽しみながら開催することができました。今後は恒例行事にできるよう検討していきます。」と話していました。

今回行われたマルシェのほかにも、地域の高齢者向けにLINEやFacebookの使い方講座の開催や地域誌の作成、団体ホームページの作成、伝統文化（永井伝統さんさ）の担い手育成などに取り組んでいます。活動の詳細は、同会Facebookをご覧ください。



←永井地区まちづくりの会Facebook

